

石川県での「地震に関するセミナー」(2月28日開催)における 参加者からの質問およびその回答

平成 15 年 2 月 28 日、金沢市にて開催されました地震セミナーに於いて、時間切れで会場にて質問にお答えいただけなかったためセミナー終了後に質問用紙にて提出された質問につきまして、解答が寄せられましたので以下に掲載いたします。

質問内容：

小松西方地震について質問させていただきます。

- ・活断層は存在するのでしょうか？
- ・今後の発生はいかがでしょうか？
- ・発生した時、小松（加賀海岸）への津波の心配はいかがでしょうか？

質問者：市民防災センター職員（小松市在住）

回答

回答者：河野 芳輝 金沢大学理学部教授

おたずねの小松西方地震とは、今年2月22日(土)12時34分に発生した地震(マグニチュード4.0)のことをさしておられると思います。こう述べるのは2000年6月7日にマグニチュード6.1の地震が小松北西約100kmの沖合いで発生し小松で震度5弱を記録しているからです(石川県西方沖地震)。今回の地震はこれよりはるかに陸地に近いところで発生しました。

質問の順に回答いたします。

- ・活断層は存在するのでしょうか？

地震は海岸に近い(約10km)海底で起きたためこの地域の活断層調査は行なわれていません。したがって、元々活断層があったのか、あるいは新たに活断層が生じたかは不明です。今回の地震の規模が小さいので、新たに活断層が生じた可能性は少ないと考えています。

- ・今後の発生はいかがでしょうか？

この震源の5kmほど沖合いで1952年3月7日マグニチュード6.5の地震(大聖寺沖地震)が発生し、石川・福井両県合わせて7名の死者が出ています。2つの震源が近いので関連がある可能性がありますが、詳しいデータが無いので決定的なことを述べることはできません。今後の可能性については現在の地震学ではなんともいえません。特に可能性が高いことを示す資料もありません。

・発生した時、小松（加賀海岸）への津波の心配はいかがでしょうか？

地震の規模が大きければ津波は発生する可能性があります。ですからもし大きな地震のゆれを感じたら津波が来る可能性を考えて高台へすぐ避難すべきです。